

2017年度(平成29年度)ABiS支援課題一覧

【光学顕微鏡技術支援活動】

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|----------------------|---------|--|---------|
| 1 | 戸村 道夫 | 大阪大谷大学 | 基盤B | 腸管から全身に移行する免疫細胞の動態と機能分子解析による多臓器連携制御機構の解明 | 今村 健志 |
| 2 | 星野 大輔 | 神奈川県立がんセンター | 若手B | エクソソームによるがん悪性化機構の分子メカニズムの解明 | |
| 3 | 大島 正伸 | 金沢大学 | 基盤A | 大腸がん自然転移・再発モデルの開発による悪性化進展機構の研究 | |
| 4 | 多喜 正泰 | 名古屋大学 | 挑戦萌芽 | 近赤外吸収色素ライブラリーの構築および光音響イメージングへの展開 | |
| 5 | 西崎 正彦 | 岡山大学 | 基盤C | 炎症性微小環境に起因する胃癌の悪性化進展機構の解明と抗悪性化療法の開発 | |
| 6 | 宿南 知佐 | 広島大学 | 挑戦的萌芽研究 | ゲノム編集技術を用いた鎖骨頭蓋異形成症モデルマウスの作成と解析 | |
| 7 | 武内 恒成 | 愛知医科大学 | 基盤C | 新規バイオマテリアルを用いた脊髄損傷治療の可能性—細胞外環境操作と炎症制御解析— | 野中 茂紀 |
| 8 | 尾松 万里子 | 滋賀医科大学 | 基盤C | 新しく同定された非定型心筋細胞ACMsの生理的意義および細胞周期調節機構の検討 | |
| 9 | 高橋 良輔 | 京都大学 | 基盤A | GBA遺伝子変異によるパーキンソン病発症機構の解明と治療法開発 | |
| 10 | 山中 章弘 | 名古屋大学 | 基盤B | メラニン凝集ホルモン産生神経の活動操作と運命制御を用いたレム睡眠調節機構の解明 | |
| 11 | 近藤 晶子 | 藤田保健衛生大学 | 基盤C | 全胚3D蛍光トラッキング法を用いた中内胚葉誘導因子の活性定量と細胞運命の追跡 | |
| 12 | 能瀬 聡直 | 東京大学 | 基盤B | コネクティブミクスと光遺伝学による運動回路の機能解剖 | |
| 13 | 横川 雅俊 | 筑波大学 | 基盤C | 超高感度レドックスセンサアレイによる発電微生物の探索 | 藤森 俊彦 |
| 14 | 村上 正晃 | 北海道大学 | 基盤B | ゲート反射と炎症アンブによる慢性炎症の制御機構 | |
| 15 | 澤 新一郎 | 北海道大学 | 挑戦萌芽 | 自然リンパ球前駆細胞の同定 | |
| 16 | 住谷 瑛理子 | 北海道大学 | 若手B | 骨の質・量・形状変化に依存して生体応答を調節する骨由来因子の探索と解析 | |
| 17 | 佐々木 洋 | 大阪大学 | 新学術(公募) | 線維芽細胞における細胞競合機構とその発生学的意義 | 亀井 保博 |
| 18 | 長谷川 望 | 東京医科歯科大学 | 挑戦萌芽 | RANK様レセプターによる新規骨・軟骨形成促進薬の創生 | |
| 19 | 船山 典子 | 京都大学 | 新学術(公募) | 細胞作用の繰り返しで自律的に3次元形態を構築するカイメン骨片骨格形成 | |
| 20 | 菊池 浩二 | 熊本大学 | 基盤C | ゲノム編集技術を活用したWnt/PCPシグナル経路の新規制御機構の解明 | |
| 21 | 大谷 哲久 | 生理学研究所 | 新学術(公募) | 上皮バリアのホメオスタシスにおける細胞競合の役割とその分子機構の解明 | 亀井 保博 |
| 22 | 中山奈津子 | 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 | 基盤C | カレニア・ミキモトイ殺菌性ウイルスKmVIによる赤潮衰退への影響評価 | |
| 23 | 西川 周一 | 新潟大学 | 基盤C | シロイヌナズナ有性生殖過程の核膜融合機構の解析 | |
| 24 | 丸山 真一郎 | 東北大学 | 若手B | サンゴ共生系の真の安定性を反映する共生藻回転率と食胞内微小環境応答の解析 | |

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|------------------|-----------|--|---------|
| 25 | 高橋 良輔 | 京都大学 | 基盤A | GBA遺伝子変異によるパーキンソン病発症機構の解明と治療法開発 | 松田 道行 |
| 26 | 浅沼 克彦 | 京都大学 | 挑戦萌芽 | 腎糸球体細胞(ポドサイト)の培養条件下での高次構造再現の試み | |
| 27 | 大森 孝一 | 京都大学 | 基盤B | マウスおよびヒトiPS細胞を用いた頭頸部組織の再生技術開発 | |
| 28 | 八十田 明宏 | 京都大学 | 基盤C | 骨伸長障害に対するCNP/GC-B系賦活化治療の基盤構築 | |
| 29 | 長嶋 一昭 | 京都大学 | 基盤C | 蛍光ATPプローブ遺伝子ノックインマウスを用いた膵島細胞糖代謝異常の解析 | |
| 30 | 妹尾 浩 | 京都大学 | 基盤B | 新たな癌幹細胞特異的因子をターゲットにした消化器癌治療戦略 | |
| 31 | 柳田 素子 | 京都大学 | 基盤B | 腎臓の線維化とネフロン修復の分子基盤の包括的解明 | |
| 32 | 土居 雅夫 | 京都大学 | 基盤A | オーファンG蛋白質共役受容体を標的とした生体リズム中枢調節薬の創成 | |
| 33 | 八十田 明宏 | 京都大学 | 基盤C | CNP/NPR-Bシグナルによる骨伸長促進作用のメカニズムの解明 | |
| 34 | 祝迫 恵子 | 京都大学 | 基盤C | 筋線維芽細胞に着目した肝内胆管癌、膵癌の治療法について | |
| 35 | 杉村 薫 | 京都大学 | 新学術(公募) | 細胞競合力学制御の解明のための力推定法の開発と応用 | |
| 36 | 青木 航 | 京都大学 | 挑戦的研究(萌芽) | リバースオプジェネティクスの実証と、線虫の「動き」モデリングへの展開 | |
| 37 | 尾松 万里子 | 滋賀医科大学 | 基盤C | 新しく同定された非定型心筋細胞ACMsの生理的意義および細胞周期調節機構の検討 | |
| 38 | 澤田 雅人 | 名古屋市立大学 | 若手B | Sema3E-PlexinD1シグナルによる新生ニューロンの移動維持・停止機構 | |
| 39 | 伊藤 孝司 | 徳島大学 | 基盤B | 高機能型バイオスーパーの合理的デザインと疾患モデルによる治療評価システム開発 | |
| 40 | 富永 真琴 | 自然科学研究機構岡崎共通研究施設 | 新学術(計画) | TRPチャネルおよび膜脂質による温度センシング機構の解明 | |
| 41 | 篠田 雅路 | 日本大学 | 基盤C | 口腔乾燥に起因した病的口腔痛発症機構の総合的理解 | |
| 42 | 和氣 弘明 | 神戸大学大学院 | 新学術(公募) | オリゴデンドロサイトの制御による神経回路活動の精緻化 | 村越 秀治 |
| 43 | 清水 貴美子 | 東京大学 | 挑戦萌芽 | 情動の概日変動メカニズムと情動障害改善の試み | |
| 44 | 柴田 幹大 | 金沢大学 | 若手B | 高速AFMを用いたCaMKIIの多量体構造内における記憶のメカニズム解明 | |
| 45 | 米村 重信 | 徳島大学 | 基盤B | 上皮細胞の極性形成機構 | 稲葉 一男 |
| 46 | 久富 理 | 山梨大学 | 若手B | 新規青色光受容タンパク質による緑藻クラミドモナスの走光性分子機構の解明 | |
| 47 | 若林 憲一 | 東京工業大学 | 新学術(公募) | クラミドモナスの走光性発現メカニズムとその分子基盤 | |
| 48 | 中野 賢太郎 | 筑波大学 | 基盤C | アルベオラータ生物群のアクトミオシンによらない細胞質分裂の分子機構の解明 | |
| 49 | 安房田 智司 | 新潟大学 | 基盤B | 脊椎動物の陸上進出を促した精子・生殖様式の多様化機構の解明:カンガ魚類の比較から | |
| 50 | 根岸 剛文 | 東北大学 | 若手B | 基底小体へと伸長する膜構造のシリア位置制御における役割の解明 | |
| 51 | 中山 卓郎 | 東北大学 | 若手B | 渦鞭毛藻細胞に見られるシアノバクテリア共生体の機能および進化の解明 | |
| 52 | 澤田 均 | 名古屋大学 | 基盤B | 精子と卵の細胞間相互認識:アロとゼノの分子識別機構に関する研究 | |
| 53 | 伊勢 優史 | 名古屋大学 | 若手B | 有用天然化合物を産する海綿動物とその共生微生物の多様性解明と分類学的基盤の確立 | |

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|---------|----------|--|---------|
| 54 | 野副 朋子 | 明治学院大学 | 若手B | ムギネ酸類・ニコチアミン分泌を介した鉄移行と鉄恒常性維持の分子メカニズムの解明 | 東山 哲也 |
| 55 | 西川 周一 | 新潟大学 | 基盤C | シロイヌナズナ有性生殖過程の核膜融合機構の解析 | |
| 56 | 打田 直行 | 名古屋大学 | 新学術(公募) | 篩部から発信される茎成長シグナルの解析 | |
| 57 | 日渡 祐二 | 宮城大学 | 基盤C | 植物細胞の分裂と伸長を同時に調節する微小管制御系の解明 | |
| 58 | 山口 茂弘 | 名古屋大学 | 挑戦萌芽 | 超耐光性有機蛍光色素ライブラリーの創製 | |
| 59 | 多喜 正泰 | 名古屋大学 | 挑戦萌芽 | 近赤外吸収色素ライブラリーの構築および光音響イメージングへの展開 | |
| 60 | 安達 広明 | 名古屋大学 | 特研 | MAPキナーゼ活性の可視化による植物免疫機構の解明 | |
| 61 | 瀬川 泰知 | 名古屋大学 | 基盤C | ベンゼン環のバラ位選択的官能基化法の開発 | |
| 62 | 石谷 太 | 九州大学 | 新学術(計画) | Src・Wnt経路による細胞競合機構とその腫瘍形成における役割 | |
| 63 | 河野 恵子 | 名古屋市立大学 | 若手B | 細胞膜損傷による細胞老化誘導の分子基盤解明 | |
| 64 | 吉村 柁彦 | 名古屋大学 | 特研 | 寄生植物ストライガを制御する機能性分子の開発 | |
| 65 | 上中 弘典 | 鳥取大学 | 挑戦萌芽 | ラン科植物の「菌寄 生性共生」の成立には相利共生の共通 共生経路の遺伝子群が必要か？ | |
| 66 | 多田 安臣 | 名古屋大学 | 新学術(計画) | 植物の成長可塑性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム | |
| 67 | 齊藤 尚平 | 京都大学 | 若手A | 機能性可視化剤としての柔軟な発光分子の開発とマテリアルイメージング技術の確立 | |
| 68 | 進藤 麻子 | 名古屋大学 | 新学術(公募) | In vivo細胞集団動態制御と運動マシナリー | |
| 69 | 竹本 さやか | 名古屋大学 | 基盤B | 神経細胞移動を制御するカルシウム依存的分子細胞機構の解明 | |
| 70 | 上田(石原) 奈津実 | 名古屋大学 | 基盤C | 神経回路再編成の構造的基盤としてのセプチンの役割 | |
| 71 | 武藤 潤 | 愛知医科大学 | 基盤C | ヒアルロン酸による皮膚バリア調節機構の解明とアトピー性皮膚炎の新規治療法の開発 | |
| 72 | 忍久保 洋 | 名古屋大学 | 新学術(公募) | 反芳香族化合物による拡張π造形 | |
| 73 | 鈴木 孝幸 | 名古屋大学 | 新学術(公募) | モルフォゲンに依存しない上皮の配向した力学的拘束による枝芽の伸長機構の解明 | |
| 74 | 野田口 理孝 | 名古屋大学 | 新学術(公募) | 植物の長距離移行性RNA分子と全身性環境応答に関する研究 | |
| 75 | 田中亮一 | 北海道大学 | 基盤C | クロロフィル結合モチーフをもつ低温誘導型チラコイド膜タンパク質LILの機能解析 | |
| 76 | 大崎 雄樹 | 名古屋大学 | 基盤C | 核内における脂肪滴の生理的意義 | |
| 77 | 植田 美那子 | 名古屋大学 | 新学術(公募) | 2つの鍵穴をもつ転写因子が父鍵と母鍵と結合することで胚の体軸が形成される | |
| 78 | 時田 公美 | 名古屋大学 | 特別研究員奨励費 | 花粉管の精密な伸長方向制御を担う膜輸送機構のライブイメージングによる解明 | |
| 79 | 澤進一郎 | 熊本大学 | 基盤B | 植物感染性線虫の植物感染機構の総合的解析と作物への応用研究 | |
| 80 | 福澤 健二 | 名古屋大学 | 基盤A | 流れ計測に基づいたナノすきま流体潤滑の理論体系の構築 | |
| 81 | 諸橋 賢吾 | 東京理科大学 | 基盤C | 統合的アプローチによるフラボノイドの核内倍加への機能解明 | |

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|-----|-------------|-----------|----------|--|---------|
| 82 | 村田 隆 | 基礎生物学研究所 | 挑戦萌芽 | オプトジェネティクスによる細胞分裂方向の制御方法の開発 | 根本 知己 |
| 83 | 宮武 由甲子 | 北海道大学 | 基盤C | 正常上皮細胞との接着によるがん幹細胞の発生メカニズムの解明 | |
| 84 | 泉 正範 | 東北大学 | 基盤C | 宇宙放射線による葉緑体障害とオートファジーを中心とした障害除去機構の実態解明 | |
| 85 | 山口 茂弘 | 名古屋大学 | 挑戦萌芽 | 超耐光性有機蛍光色素ライブラリーの創製 | |
| 86 | 堀尾 嘉幸 | 札幌医科大学 | 基盤C | 筋ジストロフィーの新治療法開発 | |
| 87 | 田中亮一 | 北海道大学 | 基盤C | クロロフィル結合モチーフをもつ低温誘導型チラコイド膜タンパク質LILの機能解析 | |
| 88 | 工藤 信樹 | 北海道大学 | 基盤A | 細胞・微小気泡間相互作用のその場観察によるソノポレーションの機序解明と応用拡大 | |
| 89 | 江川 潔 | 北海道大学 | 基盤C | アンジェルマン症候群における認知記憶機能障害のメカニズムと治療法の探索 | |
| 90 | 村上 洋太 | 北海道大学 | 挑戦的萌芽研究 | 転写・クロマチン制御に関与するnon-coding RNAの網羅的探索 | |
| 91 | 木村 暁 | 国立遺伝学研究所 | 基盤B | 細胞核が細胞中央へ配置する機構の研究 | |
| 92 | 戸田 知得 | 北海道大学 | 若手A | 視床下部グルコース感受性神経における新たな調節因子と抗糖尿病薬の探索 | |
| 93 | 佐伯 歩 | 北海道大学 | 若手B | S. sanguinisによるIL-1 α 産生誘導機構の解明 | |
| 94 | 辻村 太郎 | 慶應義塾大学医学部 | 若手B | エンハンサーの標的決定を超えて:クロマチン基本高次構造の機能的多様性を探る | 岡田 康志 |
| 95 | 杉本 亜砂子 | 東北大学 | 基盤B | チューブリンアイソタイプの網羅的機能解析によるマルチチューブリン仮説の検証 | |
| 96 | 山口 茂弘 | 名古屋大学 | 挑戦萌芽 | 超耐光性有機蛍光色素ライブラリーの創製 | |
| 97 | 守屋央朗 | 岡山大学 | 基盤B | 過剰発現により輸送リソースの過負荷を引き起こすタンパク質の体系的解析 | |
| 98 | 竹内 俊文 | 神戸大学 | 挑戦的萌芽研究 | 選択的かつ独立に結合情報を発信する多重蛍光標識腫瘍マーカー認識ナノ空間クラスター | |
| 99 | 浜 千尋 | 京都産業大学 | 基盤C | シナプス間隙マトリックスによるコンパートメント形成とシナプス分化機構 | |
| 100 | 堀川 一樹 | 徳島大学 | 挑戦萌芽 | 一分子計測・操作によるcAMP発振回路の構築機構の解明 | 古田 寿昭 |
| 101 | 柴 小菊 | 筑波大学 | 基盤C | プロテオミクスと分子イメージングの融合による精子鞭毛運動制御因子の解析 | |
| 102 | 高野 皓 | 東京医科歯科大学 | 特別研究員奨励費 | 高い水溶性を有するアザクマリニルメチル型光感受性保護基の高度化とその応用研究 | |

【電子顕微鏡技術支援活動】

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|------------|------------|--|---------|
| 1 | 成田 哲博 | 名古屋大学 | 基盤A | アクチン線維を機能させる蛋白質相互作用 | 光岡 薫 |
| 2 | 清水 啓史 | 福井大学 | 新学術(公募) | in vitro とin cellの蛋白質動態をつなぐX線1分子動態計測法の開発 | |
| 3 | 岸川 淳一 | 京都産業大学 | 若手B | 構造情報を突破口とした6量体ATPaseの構造機能解析 | |
| 4 | 七谷 圭 | 東北大学 農学研究科 | 基盤C | 有機酸生産の効率化へ向けた有機酸排出トランスポーターの構造と機能の解析 | |
| 5 | 植松 崇之 | 北里大学 | 基盤C | 新規自然免疫受容体による糖鎖依存的なインフルエンザウイルス認識機構の解明 | |
| 6 | 津田 誠 | 九州大学 | 基盤A | 新しいミクログリア細胞群を切り口とした神経障害性疼痛の慢性化メカニズムの解明15H02522 | 坂本 浩隆 |
| 7 | 佐藤 伸 | 岡山大学 | 若手A | 四肢再生誘導因子の特定と遺伝子改変動物創出 | |
| 8 | 萩原 大輔 | 名古屋大学 | 若手B | 異常タンパク封じ込め機構における小胞体シャペロンBiPの機能解析 | |
| 9 | 荻野 由紀子 | 九州大学 | 基盤C | アンドロゲン応答形質の多様化と適応の分子生物学的基盤 | |
| 10 | 原 健士朗 | 東北大学 | 新学術(計画) | マウス配偶子産生におけるGSCの制御機構の解明 | 中村 桂一郎 |
| 11 | 林 篤正 | 久留米大学 | 基盤C | 排尿管筋層に存在する間質細胞の超微形態三次元再構築法による機能解析 | |
| 12 | 加来 賢 | 新潟大学 | 基盤B | 歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発 | |
| 13 | 平田 憲 | 久留米大学 | 基盤C | FIB/SEMを用いた強角膜線維芽細胞ネットワークの解析と近視病態解明への応用 | |
| 14 | 古賀 憲幸 | 久留米大学 | 基盤C | マクロファージを制し根治を目指す！ 新型顕微鏡での肥厚性癬癩、ケロイドの研究 | |
| 15 | 小林 正利 | 日本体育大学 | 基盤C | 次世代微細構造3D解析による修復筋周囲の間質細胞相互作用の形態的評価 | |
| 16 | 田上 隆一郎 | 久留米大学 | 若手B | 脱灰象牙質を用いた骨再生とその界面組織の3次元微細構造解析 | |
| 17 | 藤田 守 | 久留米大学 | 基盤C | 胎内低栄養環境における消化吸収機構のエピゲノム変化に関する分子形態学的研究 | 太田 啓介 |
| 18 | 松本 健 | 理化学研究所 | 挑戦萌芽 | 網羅的RNAiによるドラッグリプロファイリングに向けたアプローチ | |
| 19 | 中島 則行 | 久留米大学 | 若手B | Olfactory Marker Proteinの生理的機能の解明 | |
| 20 | 岩根 敦子 | 大阪大学 | 基盤B | 細胞分裂過程とリンクした標的分子の網羅的マッピング法の開発 | |
| 21 | 石原 直忠 | 久留米大学 | 基盤B | 哺乳動物細胞のミトコンドリア融合・分裂の制御と個体における生理的意義 | |
| 22 | 和田 成生(新岡) | 大阪大学 | 挑戦萌芽 | 内部構造および力学的性状の異なる血栓はどうして形成されるのか | |
| 23 | 北尻 真一郎 | 京都大学 | 基盤B | 内耳におけるアクチン構造様式とその制御の包括的解析 | |
| 24 | 麓 伸太郎 | 長崎大学 | 新学術(公募) | 組織透明化で加速する安全かつ効率的な遺伝子導入法の開発 | |
| 25 | 家村 顕自 | 東北大学 | 研究活動スタート支援 | 分裂期キナーゼAurora Aによる染色体均等分配システムの堅牢性の解析 | |

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|----------------|----------|--|--------------|
| 26 | 柴崎 貢志 | 群馬大学 | 基盤B | 脳内局所の人工的加温・冷却システムを応用した病態制御の試み | 小池 正人 |
| 27 | 岡崎 朋彦 | 東京大学 | 若手B | 抗ウイルス応答の使い分け機構の解析 | |
| 28 | 水島 昇 | 東京大学 | 新学術(計画) | オートファジーの生理・病態生理学的意義とその分子基盤 | |
| 29 | 桑原 知樹 | 東京大学 | 基盤C | LRRK2によるリソソーム恒常性維持機構およびパーキンソン病との関連 | |
| 30 | 原田 雄仁 | 東京大学 | 特別研究員奨励費 | 成体神経幹細胞の形成・維持メカニズムの解明 | |
| 31 | 山中 宏二 | 名古屋大学 | 基盤B | アストロサイト異常に着目した遺伝性・孤発性ALSの病態解明 | |
| 32 | 荒木 真理人 | 順天堂大学 | 基盤C | 変異CALR遺伝子によるサイトカイン受容体活性化の分子基盤の解明 | |
| 33 | 高橋 英之 | 国立感染症研究所 | 基盤C | 臨床分離株を用いた髄膜炎菌の病原性規定因子の同定とその発現プロファイルの解析 | |
| 34 | 小田 賢幸 | 山梨大学 | 新学術(公募) | 分子定規による運動性シリア構築メカニズムの解明 | 大野伸彦 古瀬幹夫 |
| 35 | 篠崎 陽一 | 山梨大学 | 若手B | P2受容体機能異常による緑内障性視神経症発症機構の解明 | |
| 36 | 城 謙輔 | 東北大学 | 基盤C | IgA腎症に対する扁桃摘出・ステロイドパルス療法の効果に関する分子・病理学的研究 | |
| 37 | 澤本 和延 | 名古屋市立大学・生理学研究所 | 基盤A | 生後脳組織の恒常性維持と再生における新生ニューロンの移動機構 研究課題 | |
| 38 | 若山 友彦 | 熊本大学 | 基盤C | 細胞接着分子による造精細胞の分化調節機構の研究 | |
| 39 | 平山 晃斉 | 大阪大学 | 基盤C | 体性感覚野の神経回路形成における神経細胞多様性の役割 | |
| 40 | 丹生谷 正史 | 防衛医科大学校 | 基盤C | 精神科治療が脳神経細胞内オートファジー信号に与える影響の探索 | |
| 41 | 後藤 仁志 | 京都府立医科大学 | 若手B | グリコゲン欠損マウスを用いたグリコーゲン代謝系による神経幹細胞制御機構の解析 | |
| 42 | 馬場 広子 | 東京薬科大学 | 基盤C | タンパク質翻訳後修飾による末梢神経機能調節 | |
| 43 | 竹林 浩秀 | 新潟大学 | 新学術(計画) | オリゴデンドロサイト前駆細胞と神経回路の機能的相互作用 | |
| 44 | 原 健士朗 | 東北大学 | 新学術(計画) | マウス配偶子産生におけるGSCの制御機構の解明 | |
| 45 | 小野 勝彦 | 京都府立医科大学 | 基盤C | 脳領域形成の種間比較による視神経オリゴデンドロサイト前駆細胞の出現機構の解析 | |
| 46 | 矢野 十織 | 東京慈恵会医科大学 | 基盤C | 器官サイズの再生現象における痛みシステムバランスの理解 | |
| 47 | 見学 美根子 | 京都大学 | 新学術(計画) | 発生脳における場の物性を制御する分子基盤 | |
| 48 | 田中 達英 | 奈良県立医科大学 | 新学術(公募) | 白質内オリゴデンドロサイトにみられるパターン形成とその起源 | |
| 49 | 西田 基宏 | 自然科学研究機構 | 基盤B | 環境因子によるミトコンドリア機能変化を介する新しい老化モデル | |
| 50 | 坂本 浩隆 | 岡山大学 | 挑戦萌芽 | 難治性掻痒症の神経機構解明に向けての新規アプローチ | 村田 和義 |
| 51 | 宮川 剛 | 藤田保健衛生大学 | 基盤A | 双方向性神経成熟度変化のメカニズム解明とその制御 | |
| 52 | 佐藤 匡史 | 名古屋市立大学 | 新学術(計画) | 生命分子の動的秩序形成におけるマイクロ-マクロ相関の探索と設計原理の探求 | |
| 53 | 矢木 真穂 | 分子科学研究所 | 若手B | ガングリオンド糖脂質クラスター上におけるアミロイドβの構造転換の精密構造解析 | |
| 54 | 鈴木 大介 | 信州大学 | 新学術(公募) | 高分子コロイド分散系における動的秩序の発展 | |
| 55 | 宮崎 直幸 | 大阪大学 | 若手B | 黄色ブドウ球菌ファージS6の感染機構の解明 | |
| 56 | 稲垣 直之 | 奈良先端科学技術大学院大学 | 新学術(計画) | 生体分子素子の自己組織化による細胞の動的秩序形成 | |
| 57 | 米沢 直人 | 千葉大学 | 基盤C | 哺乳類卵外被マトリックスの精子認識ドメイン | |
| 58 | 飯野 亮太 | 自然科学研究機構 | 基盤B | ナトリウムイオン輸送性V-ATPaseのエネルギー変換機構の解明 | |
| 59 | 河合寿子 | 基礎生物学研究所 | 特別研究員奨励費 | 緑藻型光合成に必要な大型集光アンテナ-光化学系I超複合体の構造・機能相関の解明 | |
| 60 | 鈴木 亮佑 | 神戸学院大学 | 若手B | がん低酸素領域を送達範囲内に収める難水溶性薬物搭載粒子径可変ナノキャリアの開発 | |

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|-----------|------------|--|---------|
| 61 | 木下 専 | 名古屋大学 | 基盤B | 小脳グルタミン酸作動性tripartiteシナプス膜の分子ネットワークと生理機能 | 深澤 有吾 |
| 62 | 松井 広 | 東北大学 | 新学術(公募) | 光操作技術を用いた記憶定着におけるアストロサイトの役割の解明 | |
| 63 | 小泉 修一 | 山梨大学 | 新学術(計画) | グリアアセンブリ動作原理の解明 | |
| 64 | 大塚 稔久 | 山梨大学 | 基盤B | CAST/ELKS蛋白質ファミリーによるアクティブゾーン機能制御機構の解明 | |
| 65 | 足澤 悦子 | 生理学研究所 | 基盤C | 知覚機能向上に伴う大脳皮質微小神経回路の形成基盤の解明 | |
| 66 | 松田 信爾 | 電気通信大学 | 基盤C | TARPのリン酸化によるAMPA受容体輸送の制御機構 | |
| 67 | 坂本浩隆 | 岡山大学 | 国際科研(共同研究) | 性機能を司る脳-脊髄神経ネットワークにおける非シナプスの神経制御メカニズムの解明(国際共同研究強化) | |
| 68 | 川島 永子 | 北里大学 | 基盤C | 糖脂質GM3のネフリン・リン酸化制御機構を利用した巣状系球体硬化症の治療法の確立 | |
| 69 | 丸尾 知彦 | 神戸大学 | 若手B | アフアディンとその結合分子群によるシナプス維持機構の解明 | |
| 70 | 上田(石原)奈津実 | 名古屋大学 | 基盤C | 神経回路再編成の構造的基盤としてのセプチンの役割 | 渡辺 雅彦 |
| 71 | 石川 欽也 | 東京医科歯科大学 | 基盤C | 変異RNAリポーター分子が起こす神経変性疾患の病態解明 | |
| 72 | 橋本 浩一 | 広島大学 | 特推 | シナプスにおける逆行性シグナルが生後発達期の機能的神経回路形成に果たす役割の解明 | |
| 73 | 堀内 浩 | 生理学研究所 | 若手B | ミクログリアにおける機械受容チャネルの機能解明 | |
| 74 | 田中 光一 | 東京医科歯科大学 | 基盤B | アストロサイトの多様性の分子基盤解明 | |
| 75 | 川股 知之 | 和歌山県立医科大学 | 基盤B | がんの発育と痛みにおける痛覚神経とがんのクロストークの解明 | |
| 76 | 渡邊 貴樹 | 東京大学 | 挑戦的萌芽研究 | 小脳全域のブルキン細胞特異的CRISPR/Cas9スクリーニング系の確立 | |
| 77 | 片野 泰代 | 関西医科大学 | 基盤C | 中枢性感作における脊髄疼痛伝達回路での神経障害性疼痛関連分子BEGAINの役割 | |
| 78 | 松田 恵子 | 慶應義塾大学 | 基盤B | 補体様分泌因子とグルタミン酸受容体クロストークによるシナプス成熟の分子機構解 | |
| 79 | 梅田 真郷 | 京都大学 | 挑戦萌芽 | ミトコンドリアへの新たな脂肪酸輸送経路の解明 | 宮澤 淳夫 |
| 80 | 伊原 誠 | 近畿大学 | 若手B | ネオニコチノイドの毒性発現を制御するニコチン性アセチルコリン受容体の構造因子探索 | |
| 81 | 杉本 亜砂子 | 東北大学 | 基盤B | チューブリンアイソタイプの網羅的機能解析によるマルチ-チューブリン仮説の検証 | |
| 82 | 鈴木 宏明 | 中央大学 | 基盤C | 膜とDNAが協同して増幅する人工細胞の構築 | |

【磁気共鳴画像技術支援活動】

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|-------------|-----------------|---------|--|---------|
| 1 | 友田 明美 | 福井大学 | 基盤B | これまでの研究の総力を結集させた愛着障害の早期診断・病態解析システムの開発・治療 | 青木 茂樹 |
| 2 | 掛田 伸吾 | 産業医科大学放射線科学 | 基盤C | 多発性硬化症の通常のMRで検出困難な脳白質傷害の評価:位相差強調画像に関する研究 | |
| 3 | 中尾 智博 | 九州大学 | 基盤C | ためこみ症と強迫症・不安症の生物学的差異の検討 | |
| 4 | 朴 啓彰 | 高知工科大学 | 基盤B | 脳MRIに基づく高齢ドライバーの危険運転予測法の開発 | |
| 5 | 東山 雄一 | 横浜市立大学 | 若手B | 表情定量解析に基づくパーキンソン病の仮面様顔貌の病態解明 | |
| 6 | 平野 好幸 | 千葉大学 | 基盤C | 自閉スペクトラム症を伴う強迫症に対する認知行動療法の治療抵抗性の解明 | |
| 7 | 服部 憲明 | 大道会森之宮病院 | 基盤C | 脳内ネットワーク解析による脳卒中患者の心理特性と機能回復の関係についての検討 | |
| 8 | 中川 彰子 | 千葉大学 | 基盤C | 定量的MRI解析、MRSを用いた児童思春期の強迫性障害、発達障害の脳機能研究 | |
| 9 | 城所 博之 | 名古屋大学 | 基盤C | 極低出生体重児に認める発達障害に対する包括的脳画像解析 | |
| 10 | 足立 浩祥 | 大阪大学 | 基盤C | コネクティビティ解析を用いたレム睡眠行動障害からレビー小体病への進展機構の解明 | |
| 11 | 平井 俊範 | 宮崎大学 | 基盤C | 定量的磁化率マップによる脳アミロイドの定量化および画像化 | |
| 12 | 桐野 衛二 | 順天堂大学 | 基盤C | 機能的MRIと脳波の同時計測によるdefault mode networkの検討 | |
| 13 | 片桐 直之 | 東邦大学 | 若手B | 精神病発症危険状態症例の発症を阻止する生物学的背景に関する研究 | |
| 14 | 出江 紳一 | 医工学研究科 | 新学術(計画) | 脳内身体表現の変容機構の理解と制御 | |
| 15 | 原 祥子 | 東京医科歯科大学 | 若手B | もやもや病における拡散MRIの臨床的意義確立 | |
| 16 | 舘脇 康子 | 東北大学 | 若手B | 緑内障の客観的早期診断法の開発に向けて～脳MRIはバイオマーカーとなり得るか？ | |
| 17 | 池野 充 | 順天堂大学 | 基盤C | 次世代拡散MRI解析を用いた小児神経疾患の脳微細構造解析 | |
| 18 | 竹田 和良 | 国立精神・神経医療研究センター | 基盤C | 認知リハビリテーションによる統合失調症ワーキングメモリ障害の改善メカニズムの解明 | |
| 19 | 柴田 靖 | 筑波大学 | 基盤C | 大脳白質線維の画像解析による慢性頭痛の病態解明、診断治療への応用 | |
| 20 | 萩原 彰文 | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 | 若手B | Synthetic MRI・定量MRIによる最適コントラストの創出と病変解析 | |
| 21 | 米田 哲也 | 熊本大学 | 基盤C | 臨床用MRIを用いたアルツハイマー病発症前診断を可能にする位相画像技術の開発 | |
| 22 | 吉田 篤司 | 理化学研究所 | 基盤C | 脳損傷後機能回復に関与する脳可塑性システムの解明 | |
| 23 | 小山内 実 | 東北大学 | 基盤C | マルチスケールカルシウムイメージングによるパーキンソン病発症機序の解明 | |
| 24 | 高橋 洋人 | 大阪大学 | 若手B | NODDIを用いた磁気共鳴拡散強調画像によるアルツハイマー病の新しい診断法の確立 | |

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 | |
|----|-------------|-------------|---------|--|---------|-------|
| 25 | 地村 弘二 | 慶應義塾大学 | 基盤C | 異時的選択行動における衝動性と自己制御を形成する報酬強化の神経機構 | 定藤 規弘 | |
| 26 | 寺井 あすか | 公立ほこだて未来大学 | 基盤C | 比喩における創造的解釈の創発に関わる神経ネットワーク・認知メカニズムの解明 | | |
| 27 | 岡田 知久 | 京都大学 | 新学術(計画) | スパースモデリングの深化とデータ駆動科学の創成(計画研究:医学班) | | |
| 28 | 桐野 衛二 | 順天堂大学 | 基盤C | 機能的MRIと脳波の同時計測によるdefault mode networkの検討 | | |
| 29 | 山下 典生 | 岩手医科大学 | 若手B | MRI歪み・信号むら汎用補正技術の開発による高精度脳萎縮縦断解析手法の確立 | | |
| 30 | 樋口 敏宏 | 明治国際医療大学 | 基盤C | 1H MRSI脳内酸化ストレス画像法による神経疾患の診断と予防法の確立 | | |
| 31 | 日暮 憲道 | 東京慈恵会医科大学 | 基盤C | 患者iPS細胞を用いたドラブ症候群の病態解明・細胞移植治療を目指した研究 | | |
| 32 | 中根 俊樹 | 名古屋大学 | 基盤C | 小児から老人まで、機能的脳MRIと生理学的指標から見た発達・加齢 | | |
| 33 | 荻野 祐一 | 群馬大学 | 基盤C | 慢性痛(脳機能障害性)中枢メカニズムをMRIで解明する研究 | | |
| 34 | 朴 啓彰 | 高知工科大学 | 挑戦的萌芽研究 | 非侵襲性経頭蓋脳刺激による運動挙動への影響を探るための基礎的検討 | | |
| 35 | 小山内 実 | 東北大学 | 基盤C | マルチスケールカルシウムイメージングによるパーキンソン病発症機序の解明 | | |
| 36 | 水野 賀史 | 福井大学医学部附属病院 | 若手B | 安静時機能的MRIによる注意欠如多動症に対する診断と治療効果の客観的評価法の開発 | | 笠井 清登 |
| 37 | 東山 雄一 | 横浜市立大学 | 若手B | 表情定量解析に基づくパーキンソン病の仮面様顔貌の病態解明 | | |
| 38 | 平野 好幸 | 千葉大学 | 基盤C | 自閉スペクトラム症を伴う強迫症に対する認知行動療法の治療抵抗性の解明 | | |
| 39 | 中川彰子 | 千葉大学 | 基盤C | 定量的MRI解析、MRSを用いた児童思春期の強迫性障害、発達障害の脳機能研究 | | |
| 40 | 足立 浩祥 | 大阪大学 | 基盤C | コネクティビティ解析を用いたレム睡眠行動障害からレビー小体病への進展機構の解明 | | |
| 41 | 桐野 衛二 | 順天堂大学 | 基盤C | 機能的MRIと脳波の同時計測によるdefault mode networkの検討 | | |
| 42 | 後藤 政実 | 北里大学 | 若手B | 組織変性補正を用いた新規MRI脳容積評価法の構築 | | |
| 43 | 村山 桂太郎 | 九州大学 | 基盤C | 認知機能と脳画像、遺伝子の統合的解析による強迫性障害のエンドフェノタイプの解明 | | |
| 44 | 柴田 靖 | 筑波大学 | 基盤C | 大脳白質線維の画像解析による慢性頭痛の病態解明、診断治療への応用 | | |

【画像解析技術支援活動】

| 番号 | 支援を受けた研究者氏名 | 所属機関 | 研究種目 | 科研費研究課題名 | 主な支援担当者 |
|----|--------------|----------------------|---------|--|---------|
| 1 | 深澤 有吾 | 福井大学 | 基盤B | シナプス内AMPA型グルタミン酸受容体発現密度の生理的意義とメタ可塑性の可視化 | 上野 直人 |
| 2 | 中山 奈津子 | 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 | 基盤C | カレニア・ミキモトイ殺菌性ウイルスKmVIによる赤潮衰退への影響評価 | |
| 3 | 荒木 信 | 明治薬科大学 | 基盤B | ARLファミリーGタンパク質群の作動原理と生理機能の解析 | |
| 4 | 松本 健郎 | 名古屋大学 | 新学術(計画) | 新鮮胚内部の応力分布可視化法の確立と形態形成原理の力学的理解 | |
| 5 | 船山 典子 | 京都大学 | 新学術(公募) | 細胞作用の繰り返しで自律的に3次元形態を構築するカイメン骨片骨格形成 | |
| 6 | 泉 健次 | 新潟大学 | 基盤B | 細胞運動能を指標とした再生医療向け非侵襲的口腔粘膜上皮細胞評価システムの開発 | |
| 7 | WANG YUCHIUN | 理化学研究所 | 基盤B | Elucidating the mechanisms underlying epithelial cell height change mediated by modifications of apical-basal polarity | |
| 8 | 杉田 修啓 | 名古屋工業大学 | 基盤A | 力学的適応機構解明のための生体組織内微視的力学場の3次元解析と生化学場の対比 | |
| 9 | 梶島 健治 | 京都大学大学院 | 基盤S | 皮膚を場とする外的刺激に対する生体応答機構の包括的解明 | |
| 10 | 武田 洋幸 | 東京大学 | 新学術(計画) | 細胞集団の回転運動による3D形態形成のロジック | |
| 11 | 見学 美根子 | 京都大学 | 新学術(計画) | 発生脳における場の物性を制御する分子基盤 | |
| 12 | 近藤 寿人 | 京都産業大学 | 基盤B | 体細胞系列の選択的な発生をもたらすエピプラストの領域化と転写制御ネットワーク | |
| 13 | 藤森 俊彦 | 基礎生物学研究所 | 挑戦萌芽 | マウスにおける発生休止メカニズムの解明 | 内田 誠一 |
| 14 | 池ノ内 順一 | 九州大学 | 基盤B | タイトジャンクション形成の制御機構の解明 | |
| 15 | 鈴木 利治 | 北海道大学 | 基盤B | アルツハイマー病発症機構の解明と新規創薬標的の開発 | |
| 16 | 木村 暁 | 国立遺伝学研究所 | 新学術(公募) | 細胞質流動から迫る細胞質におけるゆらぎから構造が生じるメカニズム | |
| 17 | 松山 倫也 | 九州大学 | 基盤A | 完全養殖系とゲノム編集技術を用いた海産魚における新規育種基盤技術の開発 | |
| 18 | 豊島 文子 | 京都大学 | 基盤B | 妊娠期における母体表皮幹細胞制御と生殖機能における役割の解明 | |
| 19 | 神谷 厚範 | 国立循環器病研究センター | 新学術(公募) | 動物物の求心性神経2光子イメージングによる皮膚温度センシング機構のシステム同定 | |
| 20 | 武田 洋幸 | 東京大学 | 新学術(計画) | 細胞集団の回転運動による3D形態形成のロジック | |
| 21 | 鳥羽 栞 | 大阪市立大学 | 基盤C | パーキンソン病関連タンパク質シヌクレインによる微小管制御の分子機構解明 | 安永 卓生 |
| 22 | 清水 啓史 | 福井大学 | 新学術(公募) | in vitro とin cellの蛋白質動態をつなぐX線1分子動態計測法の開発 | |
| 23 | 武谷 立 | 宮崎大学 | 基盤C | サルコメアにおける心拍動依存的な恒常性維持機構とその破綻 | |
| 24 | 鈴木 邦律 | 東京大学 | 新学術(公募) | 隔離膜伸展におけるユビキチン様修飾システムの役割 | 馳澤 盛一郎 |
| 25 | 湖城 恵 | 上智大学 | 特研 | 画像処理技術を用いたオルガネラ形態の自動計測 | |
| 26 | 杉田 左江子 | 香川大学 | 基盤C | イネ脱粒性遺伝子の栽培化における役割および遺伝子ネットワークの解明 | |
| 27 | 高橋 真哉 | 筑波大学 | 基盤C | 環境放射線の生物影響モニタリング可能な植物培養細胞を用いた新規影響評価手法の開発 | |
| 28 | 神谷 厚範 | 国立循環器病研究センター | 新学術(公募) | 動物物の求心性神経2光子イメージングによる皮膚温度センシング機構のシステム同定 | |
| 29 | 富永 基樹 | 早稲田大学 | 基盤S | 可視化による膜交通の分子機構の解明と植物高次システムへの展開 | |
| 30 | 村田 隆 | 基礎生物学研究所 | 挑戦的萌芽研究 | オプトジェネティクスによる細胞分裂方向の制御方法の開発 | |
| 31 | 長岐 清孝 | 岡山大学 | 基盤C | ゲノム編集を用いた半数体作出法の開発 | |
| 32 | 丸山 真一郎 | 東北大学 | 若手B | サンゴ共生系の真の安定性を反映する共生藻回転率と食胞内微小環境応答の解析 | |